

# の 議会だより

松崎

「峰区・どんと焼き」

No.130  
令和3年1月28日

## 《主な内容》

第4回定例会（12月8日～12月10日）

一般会計補正予算など..... 2  
町政を問う 一般質問に6議員..... 6



松崎町は、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



# 令和2年12月定例会

令和2年第4回定例会が12月8日から10日までの3日間で開催されました。

今回の定例会では、一般会計補正予算など16議案について審議を行い、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

## 一般会計

### 補正予算

補正予算(第9号)は

新型コロナウイルス対策事業として、町有施設トイレ洋式化、空気清浄機の購入、プレミアム商品券事業追加分などを増額し、新型コロナウイルス対策の財源として繰り入れていた財政調整基金について、国県支出金へ財源を振り替えるなど、歳入歳出にそれぞれ6302万8千円を追加し、補正後の予算額を48億1658万5千円(1.3%増)とした。

**問** 空き家調査業務委託費が計上されているが、以前地域おこし協力隊が

調査を行った実績がある。

**答** 今回の調査は、これまで行ってきた調査とどのような違いがあるのか。

**答** 企画観光課長 以前行った調査は、下準備から始めてあまりにも時間が掛かりすぎることで、地域の方に顔が知られていないなど、いろんな弊害があつてストップしている。今回の調査は、移住定住の促進ということで、コロナ対策交付金の対象となるもの。空き家調査事業を手がけている住宅地図の会社に委託し、現状把握をしっかりと行い、空き家対策の計画を策定していく。

**問** 緊急経済対策プレミ

ーム商品券事業費を増額しているが、12月6日の販売では、かなりの行列ができていた。翌日、完売の放送があり、もう終わってしまったと誤解している町民も多々いる。再発売にあたっては、しっかりと広報を行い、密にならない販売方法を取るべきと考えるが。

**答** 企画観光課長 好評で、直ぐに完売したが、相当長い行列ができた。再発売にあたっては、販売窓口を増やすなど、そこは丁寧に考えるべきである。商工会と検討している。町民には、準備が整い次第、しっかりと広報を行っていく。

**問** 松崎港維持修繕事業で200万円追加されている。松崎側はいつも浚渫しているが、道部側マリーナから上は、土砂が堆積し満潮時以外は使えない状況になっている。負担金を支出する以上、浚渫の要望をすべきでは

ないか。  
**答** 産業建設課長 昨年も、町長、議長、副議長他で県知事に要望している。今後とも引き続き働きかけを行っていく。



国土交通副大臣も視察した松崎港

**問** 防災倉庫2基の工事費が計上されているが、規模を大きくして一つにする考えはないのか。  
**答** 総務課長 新型コロナウイルスの資機材の保管が既存の倉庫では足りないため設置するものであるが、資機材を分散、整理を図る意味で2基とした。



12月定例会の様子

**問** 旧三浦小学校フェンス改良工事とあるが、ここはどのような活用がされているのか。またフェンスを直すことによりどんな効果を期待するの  
**答** 教育委員会事務局長

校舎は利用されていないが、体育館については、一般の住民に体育施設として貸し出しを行っている。フェンスについては、体育館の脇に生徒の転落防止用として設置されていたものが台風で倒れ、体育館側に傾いている。柵田の収穫祭など、駐車場として関係者が利用するので転落防止柵を設置する。

## その他の補正予算

### ◎水道事業会計補正予算 (第1号)

収益的収入において、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業による使用水量の減などにより、事業収益を548万1千円減額。事業費用においても、委託費、動力費など632万6千円を減額とした。

### ◎温泉事業会計補正予算 (第1号)

収益的収入において、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業要請を行った事業者に対する温泉使用料の減免などにより、事業収益を132万8千円減額。事業費用においても、委託費、動力費など113万3千円を減額とした。

### ◎雲見集落排水事業特別 会計補正予算(第1号)

収入において、新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊客減などから、使用

料を100万円減額、支出においては、経年劣化に伴う設備修繕のため100万円を増額した。財源については財政調整基金を取り崩し、補正後の額を2074万円とした。

## 条例

### ◎松崎町議会議員及び松 崎町長の選挙における選 挙運動の公費負担に関す る条例の制定

令和2年公職選挙法の改正により、町村議会議員および町村長選挙における選挙公営制度が条例で定められることになったため、「選挙運動用自動車の使用」、「選挙運動用ビラの作成」、「選挙運動用ポスターの作成」を選挙公営の対象とするもの。候補者1人当たりの公費負担の限度額は、町長20万4750円、町議会議員17万9216円。公職選挙法の一部を改正する法律の施行の日から

施行される。

### ※選挙公営とは

国または自治体が、選挙費用の一部または全部を負担することにより、候補者の個人的財力により、選挙に不公平を生じさせないことを目的とした制度。

### ◎松崎町消防団条例の一 部を改正する条例

人口減少や若者の町外流出、少子高齢化などに伴い消防団員の確保が年々難しくなってきた。人員不足により小隊としての機能を維持できなくなってきたとの現場からの意見を受け定数の改正を行うもの。

### 第6分団(岩地、石部、雲見)において、本年度から3小隊あったものを1小隊に再編している。

定数を現在の40人から9人削減し31人体制とすることとし、消防団員の定員を現在の254人から245人に変更するもの

で、令和3年4月1日から施行される。

この他、次の条例も原案のとおり可決された。

### ◎地方税法等の一部を改 正する法律の施行に伴う 関係条例の整理に関する 条例

## 専決処分の承認

### ◎専決処分の承認を求め ることについて(損害賠 償額の決定及び和解)

ゴミ収集車でゴミステーションを破損したものであるが、全額全国自治協会自動車損害共済により対応したもの。

### ◎専決処分の承認を求め ることについて(松崎町 特別職の職員で常勤の者 の給料等に関する条例の 一部を改正する条例)

◎専決処分の承認を求めることについて(松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)  
令和2年人事院勧告において、国家公務員の特

別給について勧告があったことから、町においても同様に12月支給の期末手当の支給率を0.05月引き下げた。

## 人事

### ◎教育委員会委員の任命 について

教育委員会委員の齋藤紀子氏(伏倉)が12月31日をもって任期満了となるが、委員として適任であるため、再任することについて同意したものである。任期は、令和3年1月1日から4年間。

### ◎人権擁護委員候補者の 推薦

人権擁護委員の眞野集氏(南郷)が3月31日をもって任期満了となるが、委員として適任であるため、再度、法務大臣に推薦することについて同意したものである。

任期は、引き続き任命された場合、令和3年4月1日から3年間。

## 町長の「危機管理」意識改善を

12月10日、「町長の危機管理意識に関して改善を求める決議」（提出者田中道源議員、鈴木茂孝議員、賛同者2人）が提出され、質疑、討論を経て採決の結果賛成多数で可決した。

◎町長の危機管理意識に関して改善を求める決議

この決議案は、①9月1日「防災の日」に実施された職員参集訓練において、全職員が導入する安否確認のための一斉配信メールを町長自身が導入しておらず、全く反省の意を示していないこと。②庁舎に爆破予告があった際、爆破予告当日（11月10日）に予告された時刻直前まで行き先も告げず外出し、連絡を疎かにしたこと。③12月5日の市町対抗駅伝の際、静岡市が新型コロナウイルス警戒レベル4の状況下において、例年行われている前夜祭などは中止となり、同行予定者は当日出発したにも関わらず、特別な理由もなくコロナの感染

も関わらず、それ自体を導入していなかったのは、訓練の成果どころか、むしろ落ち度だと考える。

問 爆破予告当日、一時

が危惧される静岡市に泊した。このような行動は、町長が有事の際、災害対策本部長として、責任ある立場であることの認識が甘く、今回は大事に至らなかつたものの、町民全体を危険にさらす恐れがあるものと憂慮し、町長の危機管理にし、反省、改善を求めるもの。

問 訓練というのは、最

初から100%完璧に動くものではなく、検証的な意味もある。町長が、安否確認システムを導入していないことがわかったということは、訓練の成果だっただけだ。

答 提出者 今回の訓練は、安否確認メールの動作確認の訓練であつたに

問 駅伝大会は前夜祭も

なかつたが、以前ある首長から、先に行つて選手を迎えるという話を聞いたことがある。町長は、今回どのような判断をされたかわからないが、別ルートで車で行くという一つの判断をされたと思う。そのあたりをどう考えるのか。

答 提出者 町長は選手

と同じホテルに泊つていたが、出発時の見送りもなかつたと聞いています。ホテルで仕事をしていたというが、なぜ静岡のホテルで仕事をする必要があるのか。

### 反対討論

基本的に町長は、議決して反省を求めるほど危機管理意識を失っているとは思わない。そこそこの判断能力を持つていてと認識しており、議長注意くらいの形なら賛成するが、議決という形であれば反対する。

あるのか。もし、町長が感染したら副町長もいないのどうなのか。議長、教育長と当日同じ行動をとるべきだつたと考える。

### 賛成討論

町長は防災の総責任者であり、その自覚がなければ、町民の生命、財産を守ることを責務とする町長の役割は果たせない。議会がしっかりと検証し、町長の姿勢を問うのが我々議会の役目であり、賛成する。

### 反対討論

爆破のことに關しては、対応に落ち度があつたと思えない。うがつた見方をすれば、これでもめ事を起こすのが犯人の狙いだつたかもしれない。防災訓練にしても、町長不在でも組織として対応できており、反対する。



意見書を採択

◎ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書

ドクターヘリは、医師や看護師を乗せ、現場に急行し、機内で患者を治療しながら医療機関に搬送する「空飛ぶ治療室」であり、その役割は着実に増している。ドクターヘリの運航経費は国の補助金により支援されているが、遠距離の飛行や出動件数が多いほど燃料代や整備費などの経費が増大し、運航事業者や基地病院の負担が非常に重くなっていることから、地域ごとのドクターヘリの出動回数、飛行距離およびその運航経費の実態を把握し、実際の運用に見合う補助金の基準額を設定することなどを求めるもので、全会一致で可決し、国の関係機関、静岡県知事に送付した。

第5回臨時会

◎松崎町立小中学校タブレット端末整備事業売買契約について

国のギガスクール構想に伴い児童・生徒用のタブレット端末330台を購入するもので、指名競争入札の結果次のおり購入することを承認した。

- ・ 契約金額 1840万5200円
- ・ 契約の相手方 東栄商工株式会社

Web公開始めました

松崎町議会では定例会一般質問映像をYouTubeにて試験公開しています。その他議案についても機材などの条件がそろえば公開していく予定です。



第5回臨時会・第4回定例会 賛否状況一覧

| 議会名     | 議案番号                                | 議 員<br>件 名  | 田 | 鈴 | 小 | 深 | 渡 | 高 | 土    | 議決状況 |
|---------|-------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|------|------|
|         |                                     |   | 中 | 木 | 林 | 澤 | 辺 | 屋 |      |      |
| 第5回臨時会  | 議案第71号                              | 令和2年度公立学校情報機器整備費補助金<br>松崎町立小中学校タブレット端末整備事業売買契約について    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
| 第4回定例会  | 議案第72号                              | 専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の決定及び和解）                        | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第73号                              | 専決処分の承認を求めることについて（松崎町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第74号                              | 専決処分の承認を求めることについて（松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）           | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第75号                              | 松崎町議会議員及び松崎町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について            | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第84号                              | 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第76号                              | 松崎町消防団条例の一部を改正する条例について                                | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第77号                              | 静岡県市町総合事務組合同規約の一部を変更する規約について                          | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第78号                              | 令和2年度松崎町一般会計補正予算（第9号）について                             | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第79号                              | 令和2年度松崎町水道事業会計補正予算（第1号）について                           | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第80号                              | 令和2年度松崎町温泉事業会計補正予算（第1号）について                           | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第81号                              | 令和2年度松崎町雲見集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について                     | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
|         | 議案第83号                              | 教育委員会委員の任命について  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 同意   |
|         | 諮問第1号                               | 人権擁護委員候補者の推薦について                                      | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 適任答申 |
|         | 発議第2号                               | 松崎町議会会議規則の全部を改正する規則について                               | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    | 原案可決 |
| 意見書案第4号 | ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書の提出について | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |      |
| 決議案第2号  | 町長の危機管理意識に関して改善を求める決議について           | ○   | ○ | × | ○ | × | × | ○ | 原案可決 |      |

※賛成：○ 反対：×

# 町政を問う

**問** ウィズコロナについて

**答** 多様なニーズ対応で



高柳孝博議員



**問** GoToキャンペーンの評価と効果の継続をどう考えるか。

**答** (町長)

お客が少しずつ戻り期待しているが、施策終了後を懸念している。多様なニーズに応えられるよう取り組む。

**問** 施策の財源としてふるさと納税が有効とみるが、返礼の上位3品目の件数、金額と選択された理由はどのようなものか。

**答** (町長)

温泉旅館組合の宿泊券88件、わさび122件、甘夏144件で金額は3品目で354万円である。理由は伊豆の特産品であることなどが考えられる。

**問** ふるさと納税をどう増やしていくか、ネット

では高級牛肉のような手に入りにくいもの、還元率の高いもの、定期的に届けられるセットが人気であり、その市場調査が必要ではないか。

**答** (企画観光課長)

ニーズは何っているが、そこに関わる担い手と人件費を勘案しなければならず、そういった事業所を調査している。

他に、イベントなど物ではない返礼品も考えていく。

**問** 総合戦略について

**答** 環境により検討を

**問** GovTec (政府

や地方自治体の業務効率を、ICTを活用することで高め、さらには新しいサービスを生み出す)導入の考えはあるか。

**答** (町長)

行政手続きの効率化に向けて対策を講じる。

**問** 感染症対策の防災計

画、福祉計画への新たな追記やマニュアル化をどう考えるか。

**答** (町長)

新興感染症は予測不可

のこともあり、国県や関係課と適切に対応する。

**問** ICT教育の進捗は

**答** 発展的活用を

**問** 児童生徒の家庭との連絡とセキュリティ確保はどうするか。

**答** (教育長)

タブレット端末で授業だけではなく生徒・保護者とも多くの情報のやり取りが可能となる。

**答** (教育委員会事務局長)

セキュリティはiフィルター導入とインストールは禁止の端末で確保する。

**問** 小学校のプログラミングに使うソフトは何

か、デジタル教科書の導入時期と進め方は。

**答** (教育長)

ソフトはスクラッチを使用する。デジタル教科書は国の動向を踏まえ、指導方法なども検討する。



ICT教育の進捗は



観光客の安全を（室岩洞前の国道）



小林 克己 議員



**問** 役場の喫煙スペースは

**答** 特定屋外喫煙場所

**問** 役場に「喫煙室」または「特定屋外喫煙場所」の設置の考えはあるか。

**答**（町長）

健康増進法の一部改正により、望まない受動喫煙防止を図る観点から、多数の人が利用する施設などについて、その区分に応じ施設などの特定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、施設の管理者が講ずべき措置などが定められた。役場は行政機関であり原則敷地内が禁煙対象となる。

ただし、パッカー車駐車を、屋外の場所で受動喫煙を防止するための必要な措置がとられている場所と捉え、「特定屋外喫煙場所」として設置している。

**問** 役場職員の喫煙率は。

**答**（町長）

約22%で、職員は始業から1時間、昼食後1時間、終業前1時間を禁煙時間としている。

**問** 産業医などからの指導指摘事項はあったか。

**答**（町長）

現在の喫煙場所を確認してもらったところ、喫煙者がいるならば閉鎖空間の喫煙所を設置するようにとの指導をいただいた。この閉鎖型屋外喫煙所の設置には、設置場所や費用面、濃度管理、排煙対策などの問題もあることから、十分な検討が必要と考えている。

**問** B & G プール入口階段脇に灰皿があり喫煙できる。児童の利用も多く、受動喫煙の恐れがある。施設全体を禁煙区域にするべきではないか。

**答**（教育委員会事務局長）

B & G プールは行政機関にあたるため、禁煙の方向で対応する。

**問** 室岩洞に横断歩道を

**答** 設置基準を満たさない

**問** 室岩洞の利用客の安全確保の上で横断歩道の設置を考えてはどうか。

**答**（町長）

駐車場と室岩洞入り口が国道で分断されていることから、これまで幾度となく警察などの関係機関と協議を重ねてきたが設置に至っていない。住宅地から離れていること、利用者が限られていることなどから、利用者数が横断歩道設置基準に満たされていない。今後、駐車場周辺に通行車両に注意を促す看板を増設するなど対策を行う。

**問** 回覧板のデジタル化は

**答** 情報収集に努める

**問** 前回の質疑後、回覧板のデジタル化を望む町民の声があったことから再度質問する。

**答**（町長）

将来を見据え、情報収集に努めていく。



### 問 鮎川地区活用の今後は

### 答 公共施設用地は検討中



田中道源議員



**問** 仮橋撤去後に改めて橋を架ける計画はあるか。

**答** (町長)

令和3年3月には土砂搬入が終わり、仮橋は撤去する。新たに橋は設置せず、伏倉橋からの道の整備を検討している。

**問** 伏倉橋は津波浸水域にあると思うが、対策はあるのか。

**答** (産業建設課長)

宮の前橋からの迂回路がある。宮の前橋は耐震

補強されているので、津波の心配はない。

**問** 活用方法について課を超えて話合う機会はあるのか。

**答** (町長)

役場内の課を超えて設置されている公共施設配置検討委員会において、さまざまな観点から公共施設用地の活用方法を検討していく。

**問** メルポコの導入は

**答** 今は導入

**問** 9月1日の防災訓練で使用する災害時一斉配信メールシステム「メルポコ」を町長自身が導入していなかったことは問題ではないか。

**答** (総務課長)

問題がなかったわけではない。現在は導入している。

**問** 市町駅伝の前泊理由は

**答** 勉強や仕事をしていた

**問** 駅伝前日、静岡市の新型コロナウイルス警戒レベルは4だった。駅伝前夜祭は中止、教育長と議長は当日入りに変更した。なぜ町長だけが前泊したのか。

**答** (町長)

溜まっていた仕事をホテルでやった。町長としての大事な仕事であり、町のために行っている。

危機管理もしつかりやっている。田中議員にとやかく言われる筋合いはない。

**問** 爆破予告の時に町長は

**答** 予告の30分前まで外出

**問** 庁舎を爆破する脅迫があった件で、爆破予告時刻の30分前まで町長は外出していたと聞くと、何を考えているのか。

**答** (町長)

町長不在でも機能する組織でなければダメである。

**問** 外出時の指示はどうなっていたのか。

**答** (町長)

担当の課長補佐に指示した。

**問** 担当は町長の外出を知らなかったと確認している。これで、「組織として機能している」といえるのか。

**答** (町長)

もう一人の課長補佐から伝達されているはずだ。行く先については、しつかりとは言っていないが、彼らはいつもの通り、それぞれの責任を果たしたと思っている。



不在の多い町長室、危機管理は大丈夫か





適正な農地造成を（小石が目立つ農地造成地）



渡辺文彦議員



問 コロナ後の地方活性化策は

答 優先順位をつけ調整中

**問** 町長は「広報まつぎき」（7月号）にて、コロナ禍による地方経済へのダメージを痛感したことから、町の今後の経済対策に言及され、その対応にあたる「経済戦略会議」の設置について触れているが、いつ設置されるのか。

**答**（町長）

広報にて今後の町の経済対策を農林水産業や観光業について具体的に挙げさせて頂いた。

「会議」の必要性を感じつつも、現在はコロナ禍に対応した誘客対策などを優先しており設置については、今後、検討していく。

**問** 広報にて言及された具体的な施策などについての取り組みの進展状況は。コロナ禍終息後の対応では後手に回る。早急な対策の実施をすべきでは。

**答**（町長）

私は、日本経済の動向に左右されないまちづくりの必要性を実感した。各種の具体例を挙げたが、それらの施策は関係者との調整が必要のため、一朝一夕には進まない。現在は、現状把握に努め施策の実現に向けて取り組んでいる。

**問** 先に触れられた施策は令和3年度予算に反映されるか。

**答**（町長）

令和3年度予算編成にあたり、町政運営の基本的な指針に「感染拡大防止対策を講じた経済復興・地域活性化」を追加しコロナ対策事業を実施することとした。総合計画などを考慮しつつ重点施策の優先的な展開を図っていく。



問 適正な農地造成を

答 造成申請の厳格化で

**問** 農業委員会で承認された農地造成に農地にふさわしくない造成が見られる。農業委員会での手続で適正な造成が成されていないのであるなら、町独自の規制のあり方を検討すべきではないか。

**答**（産業建設課長）

現在の造成地には明らかに申請と異なるケースがある。現在、その対策を農業委員会で協議中で、今後、届出手続の必要事項を指導要綱的なもので明文化し、農地造成の適正化を図っていく。

**問** 造成された農地を含め担い手不足が懸念されるが、その対策は。

**答**（産業建設課長）

所有者の意向を調査し、新たな担い手への集積などで対応したい。

問 鳥獣害補助を使いやすく

答 検討して利用しやすく



鈴木茂孝議員



問 現在、町の鳥獣害担当者は、わなの免許を取得するなど非常に熱心である。鳥獣害対策のスペシャリストとしてしばらくお考えはないか。

答 (産業建設課長) ずっと同じ担当というわけにはいかない。後任にしっかりと研修させる。

問 鳥獣害対策補助金は申請して資材購入の許可が出るまで数日から1週間もかかる。即日または翌日の許可に変更できないか。

答 (産業建設課長) 財源が税金であり一定のルールに基づいてやらなければならない。ただ高齢の方の申請については補助率を上げること検討していく。

問 3年間の実績は

答 直面する課題から

問 町長に就任して3年間、どのような実績を残したと考えているのか。

答 (町長)

買ひ物支援タクシー制度の創設や山口雲見線の整備、棚田保全体制の再構築。新港湾利用についても大きく前進した。

問 公約である道の駅直

売所は議会での理解が得られず、その後の動きはない。第5次総合計画では令和4年度から工事着手の予定とあるが今後の計画は。

答 (町長)

どのように進めるか、まだはつきりとは言えないがシンプルにやりたい。

問 町長は議員のときから桜葉振興に熱心であったが、町長に就任して3

年間で目に見えた進展はない。任期残り1年で生産から販売まできちんとした道筋が見える計画を作っていたら良かった。

答 (町長) そのつもりでやっている。

問 中学校から支援員の増員の要望がある。予算配分の考えはないか。

答 (町長) 全体の予算を見ながら検討したい。

問 理解が得られるのか

答 間違っていない

問 コロナの感染が拡大しており、12月5日開催の市町駅伝において教育長や議長は、レベル4の警戒地域である静岡市での開催ということを考え、日帰りの参加にした。町長は前日に行きホテルで仕事をしていただけのところが、役場ではなくわざわざ前泊してホテルで仕事することに皆さんの理解が得られると考えているのか。

答 (町長)

間違ったことをしたとは全く思っていない。



一刻を争う鳥獣害対策





名刺千枚(イメージ)、コロナ禍の今、使用目的は



深澤 守議員



問 二次救急の維持は  
答 賀茂圏域で検討する

**問** 本年、西豆地域の二次救急を担う西伊豆病院は、コロナ禍による受診控えから、経営状況が悪化、二次救急の継続が難しくなった。そこで、松崎・西伊豆の両町は二次救急維持のため病院への支援を行った。

**答** (健康福祉課長) 今後の二次救急について協議は行っているのか。

賀茂地域医療協議会や、賀茂救急医療協議会で協議を行うが、今回コロナ禍のため、集まって協議をするという機会がまだ設けられていない。

**問** もし、西豆地域に二次救急がなくなれば、松崎町民は、遠方にある下田メディカルもしくは順天堂病院まで行かなければならない。これは命の危機である。町長がイニシアチブを取って二次救急をどうするのか、国や県を交え、早急に対処しなければならぬと思うがどうか。

**答** (町長)

二次救急の大切さ、西伊豆病院の重要性を決して否定しているわけではない。24時間救急体制は非常に大切であり、存続してもらわないと困る。イニシアチブをとって今からどうしようとは考えていないが、西伊豆病院は大切であるということは、大いに認識している。

**問** 診療所の見直しを

**答** その考えはない

**問** コロナの状況や将来の松崎町、介護や二次救急を含めた西豆地域の医療体制などを考えると、岩科診療所の計画は見直すべきだと感じる。それでも町長は、岩科診療所の令和5年開院は、見直さないつもりか。

**答** (町長)

今のところ、考えに変わりはない。

**問** コロナ禍は病院の経営を苦しめている。診療所を令和5年に開院すれば、町内の病院をさらに苦しめると思う。町長には、そのような認識はないのか。

**答** (町長)

そういう認識がないというよりも、お互いの努力次第ではないか。

**問** 名刺千枚の用途は

**答** 挨拶や要望活動に

**問** 昨年は900枚、今年は千枚、大量の名刺を公費で印刷した。この名刺の使用目的は。

**答** (町長)

名刺は自己紹介や町をPRする上で、重要なツールであり、ビジネスにおいて必要不可欠である。挨拶や要望活動、セールスなど幅広く活用している。そもそも名刺に適正枚数の基準はない。名刺千枚が大量なのか、甚だ疑問である。

次の定例会は、3月3日(水)からの予定です。

## 議会のうごき

### 10月

- 8日 広報編集委員会
- 9日 賀茂郡町議会議長会議（河津町）
- 12日 第5回臨時会
- 14日 下田土木事務所松崎支所存続  
他5項目要望活動（静岡県庁）
- 20日 静岡県町村議会議長会定期総会（静岡市）
- 22日 広報編集委員会
- 29日 議会だより129号発行

### 11月

- 2日 静岡県地方議会議長連絡協議会  
意見交換会（沼津）
- 18日 議会全員協議会

### 12月

- 2日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 8～10日 第4回定例会
- 18日 「大沢温泉 依田之庄」内覧会
- 21日 西豆衛生プラント組合議会定例会

表紙の写真「峰区・どんと焼き」は、文化協会写真部より提供



この人に  
聞きました⑳  
松崎町商工会長  
森 敏さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎町商工会長にこの1年（コロナ関係）についてお話を伺いました。

○この1年についてお伺いします。

コロナ禍のなかで事業者には厳しい一年となりました。町の補助金を活用した給付金やプレミアム商品券は活性化の一助になったと思います。イ

ベントなどが中止になり、賑やかさが消えるとともに、マスクの着用もあり、息苦しい年となりました。

○これからのことについてお伺いします。

今は、町や国の支援対策がありますが、それが終了した後の対応など課題は山積しています。コロナ後の社会では、消費者の意識は大きく変わると思います。それを一つ

のチャンスととらえ、変化に対応できるように、商工会でも各部会を中心に今後の事業展開について協議を重ねていく所存です。

○町への要望は？

現場に行かないと見えてこないことはたくさんあります。役場の方もぜひ外へ出て情報収集と協力をお願いします。

（聞き手 編集委員長）

#### 発行責任者

議長 藤井 要

#### 編集委員長

渡辺 文彦

#### 編集委員

田中道源  
鈴木茂孝  
小林克己  
深澤守  
高柳孝博  
土屋清武

## 海鳴り

松崎町議会の一年間を振り返ると、副町長不在、コロナ対策、旧依田邸温泉施設の追加工事、岩科診療所に対する議論が多くを占めました。

特に今定例会で診療所の指定管理期間変更議案が直前に撤回されるなど、開院に向けての協定内容もはつきりせず、混沌としています。

令和2年6月には事業費の見直しにより、事業費総額は約1億6800万円、町の実質自己負担額は約9千万円となり、開院後5年間の経営赤字は7300万円と見込まれ、これも町の負担となります。

コロナ感染の影響や人口減少が急速に進み、2次救急病院の存続も危ぶまれる中で、町にとって診療所が本場に必要なのか、近隣との連携による高度な医療の模索など、当町の医療に対する町民への議論公開の場が、今回なくなつたことは非常に残念であると感じています。（議長）